

NY マーケットレポート（2014 年 2 月 28 日）

昨晚の NY 外国為替市場は、シカゴ購買部協会景気指数やミシガン大学消費者信頼感指数が市場予想を上回る結果となったことを好感して、ドルは堅調な動きとなりました。ただ、米 GDP や中古住宅販売成約が予想を下回る結果となったことが影響して、その後は上値の重い動き動きが続きました。また、堅調な株価動向を背景に、クロス円は堅調な展開が続きました。しかし、終盤には、ウクライナ情勢に対する懸念が高まったとの見方が広がると、投資家のリスク回避の動きが強まり、ドル円・クロス円は一段の下落となる場面もありました。ユーロは、欧州市場で発表されたユーロ圏の消費者物価の上昇率が市場予想を上回ったことを受けて、円やドルなどに対して堅調な展開が続きました。

2014/2/28 (金)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	101.63	102.21	101.56
EUR/JPY	139.40	140.11	139.12
GBP/JPY	170.06	170.57	169.40
AUD/JPY	91.09	91.62	90.81
EUR/USD	1.3714	1.3725	1.3694

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	102.00	101.63
EUR/JPY	140.73	139.30
GBP/JPY	170.68	169.96
AUD/JPY	91.37	91.05
EUR/USD	1.3814	1.3705

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	14841.07	-82.04
ハンセン指数	22836.96	+8.78
上海総合	2056.30	+8.95
韓国総合指数	1979.99	+1.56
豪ASX200	5404.82	-6.63
インドSENSEX指数	21120.12	+133.13
シンガポールST指数	3110.78	+14.04

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6809.70	-0.57
仏CAC40	4408.08	+11.69
独DAX	9692.08	+103.75
ST欧州600	338.02	+0.81
西IBEX35指数	10114.20	-49.90
伊FTSE MIB指数	20442.41	+121.43
南ア 全株指数	47328.92	+279.13

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	101.85	102.30	101.67
EUR/JPY	140.60	141.12	140.44
GBP/JPY	170.52	171.21	170.13
AUD/JPY	90.88	91.37	90.69
NZD/JPY	85.40	85.91	85.25
EUR/USD	1.3807	1.3825	1.3792
AUD/USD	0.8923	0.8964	0.8915

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16321.71	+49.06
S&P500	1859.45	+5.16
NASDAQ	4308.12	-10.82
その他主要株	終値	前日比
🇨🇦 トロント総合	14209.59	-5.15
🇧🇷 ボルサ指数	38782.89	-130.04
🇲🇽 ボベスパ指数	47094.40	-512.35

3/3 経済指標スケジュール

08:50	【日】4Q法人季報設備投資
09:00	【豪】1月HIA新築住宅販売
09:01	【英】2月ホームトラック住宅価格
09:30	【豪】4Q企業営業利益
10:00	【中】2月非製造業PMI
10:45	【中】2月HSBC製造業PMI
14:00	【日】2月自動車販売台数
17:30	～ 18:30
	【スイス】【仏】【独】【欧】【英】2月製造業PMI
18:00	【南ア】2月カギソPMI
18:30	【英】1月住宅ローン承認件数
18:30	【英】1月消費者信用残高
22:30	【米】1月個人所得
22:30	【米】1月個人支出
22:30	【米】1月PCEコア・デフレーター
22:30	【カナダ】1月原料価格指数
22:30	【カナダ】1月鉱工業製品価格
22:30	【シンガポール】2月購買部景気指数
22:30	【シンガポール】2月電子産業指数
00:00	【米】2月ISM製造業景況指数
00:00	【米】1月建設支出

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1321.60	-10.20
NY 原油	102.59	+0.19
CME コーン	457.50	+9.50
CBOT 大豆	1414.25	+20.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.32%	0.32%
3年債	0.67%	0.66%
5年債	1.51%	1.49%
7年債	2.13%	2.09%
10年債	2.65%	2.64%
30年債	3.59%	3.60%

3/3 主要会議・講演・その他予定

(出所:SBILM)

NY 市場レポート

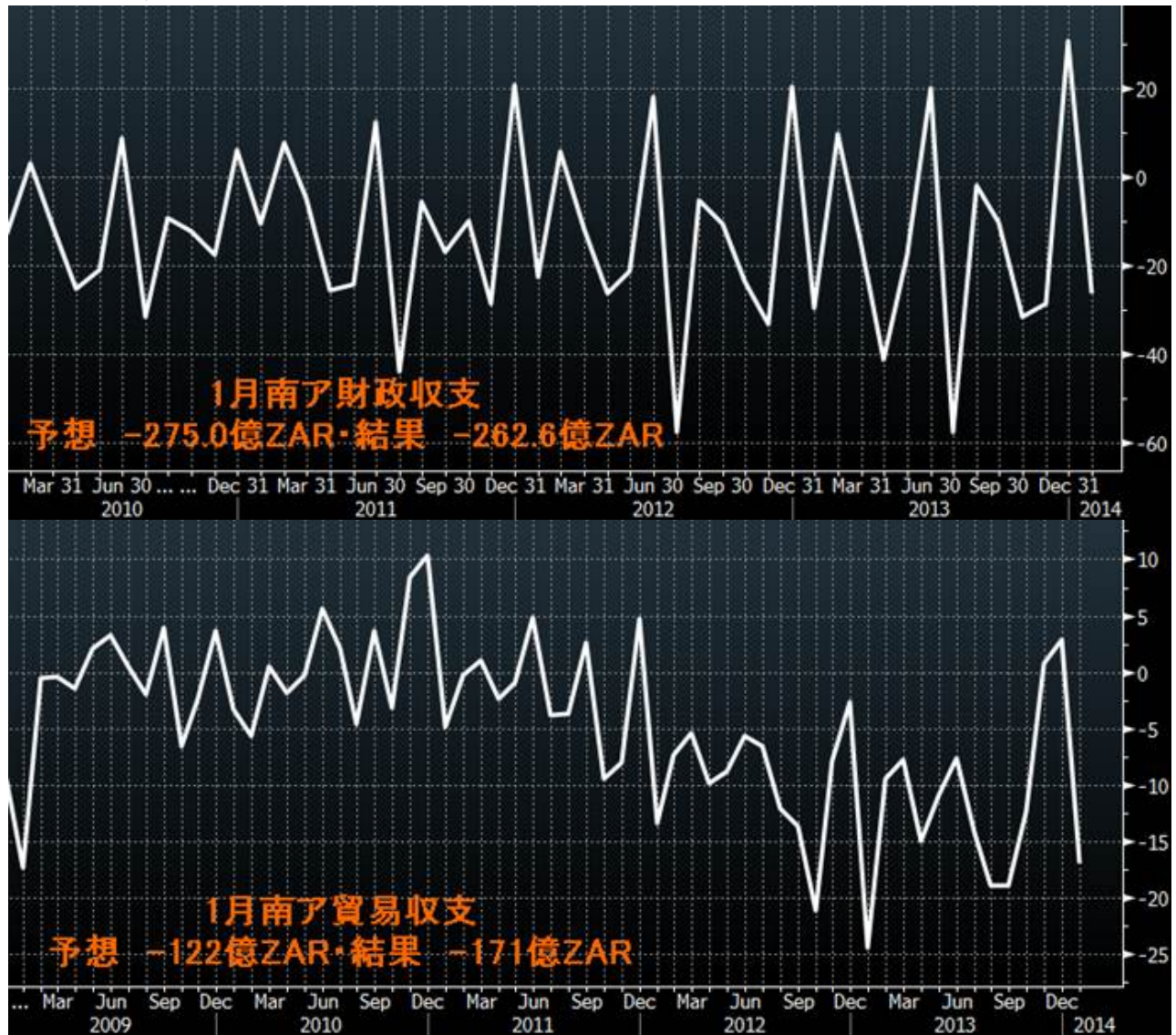
欧州市場

21 : 00

《 経済指標の結果 》

1 月南ア財政収支 -262.6 億 ZAR (予想 -275.0 億 ZAR・前回 308.3 億 ZAR)

1 月南ア貿易収支 -171 億 ZAR (予想 -122 億 ZAR・前回 28 億 ZAR)



(出所:ブルームバーグ)

22:00

ドル/円 101.90 ユーロ/円 139.62 ユーロ/ドル 1.3802

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6797.87	-12.40	ダウ INDEX FUTURE	16258	-14
仏 CAC40	4380.91	-15.48	S&P500 FUTURE	1851.40	-2.50
独 DAX	9591.15	+2.82	NASDAQ FUTURE	3697.25	-4.25

(出所:SBILM)

22:00

《 経済指標の結果 》

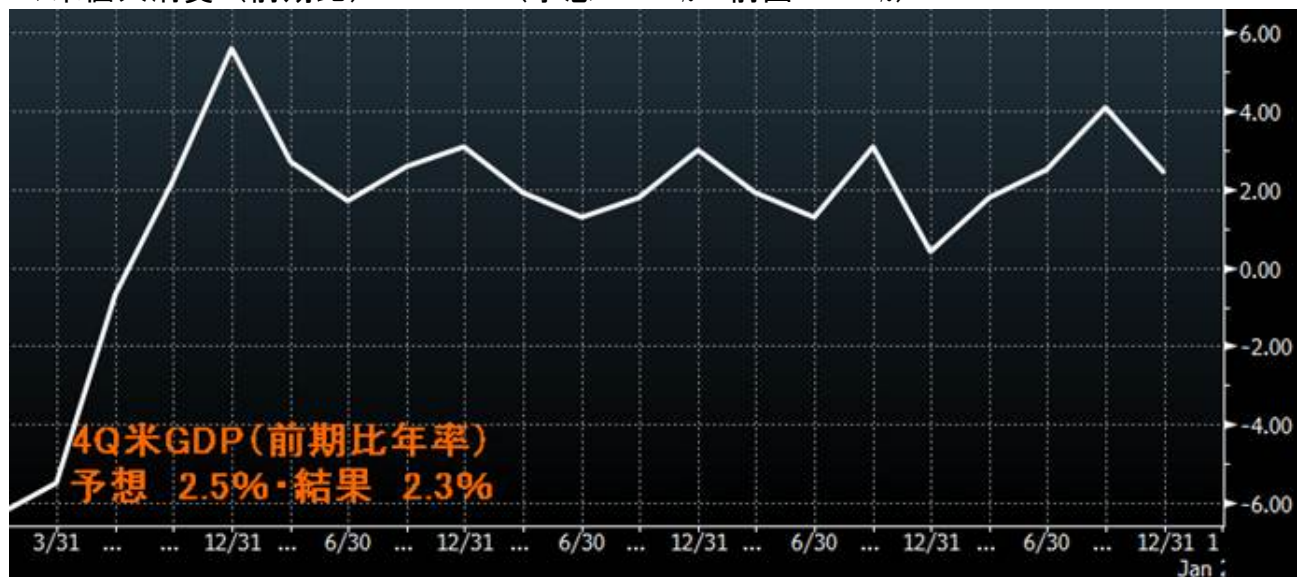
2月ポーランドNBPインフレ予想 0.6% (予想 0.6%・前回 0.5%)

22:30

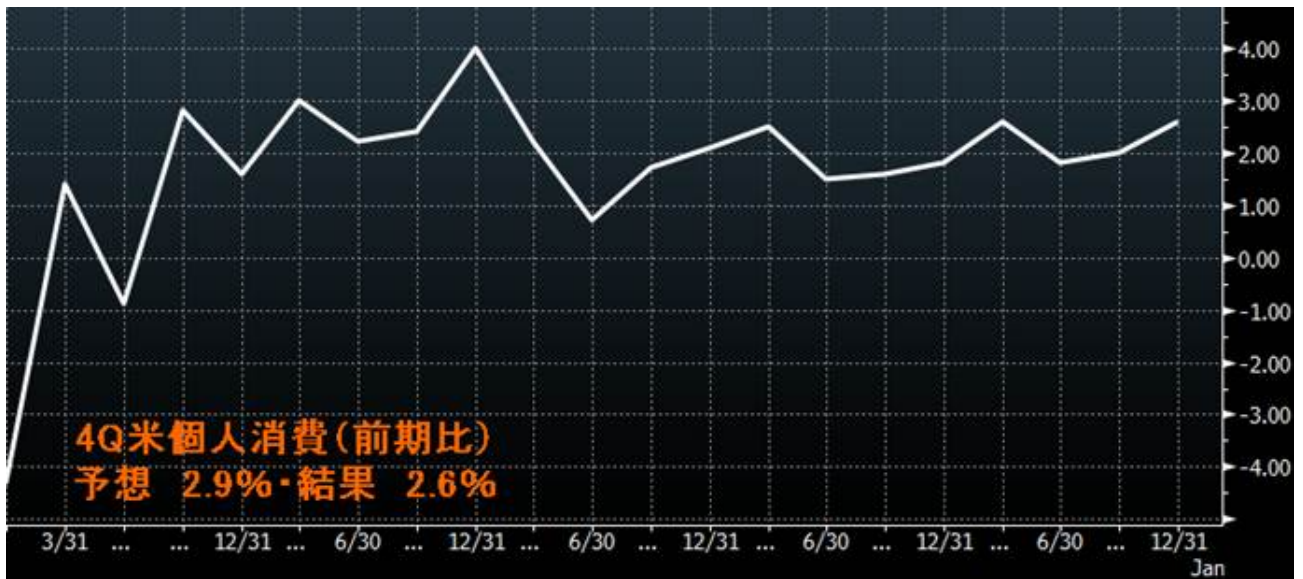
《 経済指標の結果 》

4Q米GDP(前期比年率) 2.3% (予想 2.5%・前回 3.2%)

4Q米個人消費(前期比) 2.6% (予想 2.9%・前回 3.3%)



(出所:ブルームバーグ)



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ <<米 GDP>>

	4Q 改定	4Q 速報	3Q	2Q	1Q
GDP	2.4	3.2	4.1	2.5	1.1
個人消費	2.6	3.3	2.0	1.8	2.3
耐久消費財	2.5	5.9	7.9	6.2	5.8
非耐久消費財	3.5	4.4	2.9	1.6	2.7
サービス	2.2	2.5	0.7	1.2	1.5
政府支出	-5.6	-4.9	0.4	-0.4	-4.2
最終需要	2.3	2.8	2.5	2.1	0.2
国内最終需要	1.2	1.4	2.3	2.1	0.5

22 : 30

《 経済指標の結果 》

12 月カナダ GDP (前月比) -0.5% (予想 -0.3%・前回 0.2%)

4Q カナダ GDP (前期比年率) 2.9% (予想 2.6%・前回 2.7%)



(出所:ブルームバーグ)

23 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16274.06	+1.41
ナスダック	4324.32	+5.38

(出所:SBILM)

23 : 45

《 経済指標の結果 》

2 月シカゴ購買部協会景気指数 59.8 (予想 56.4・前回 59.6)



(出所:ブルームバーグ)

23 : 55

《 経済指標の結果 》

2 月ミシガン大学消費者信頼感指数 81.6 (予想 81.2・前回 81.2)



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

《ミシガン大学消費者信頼感指数》

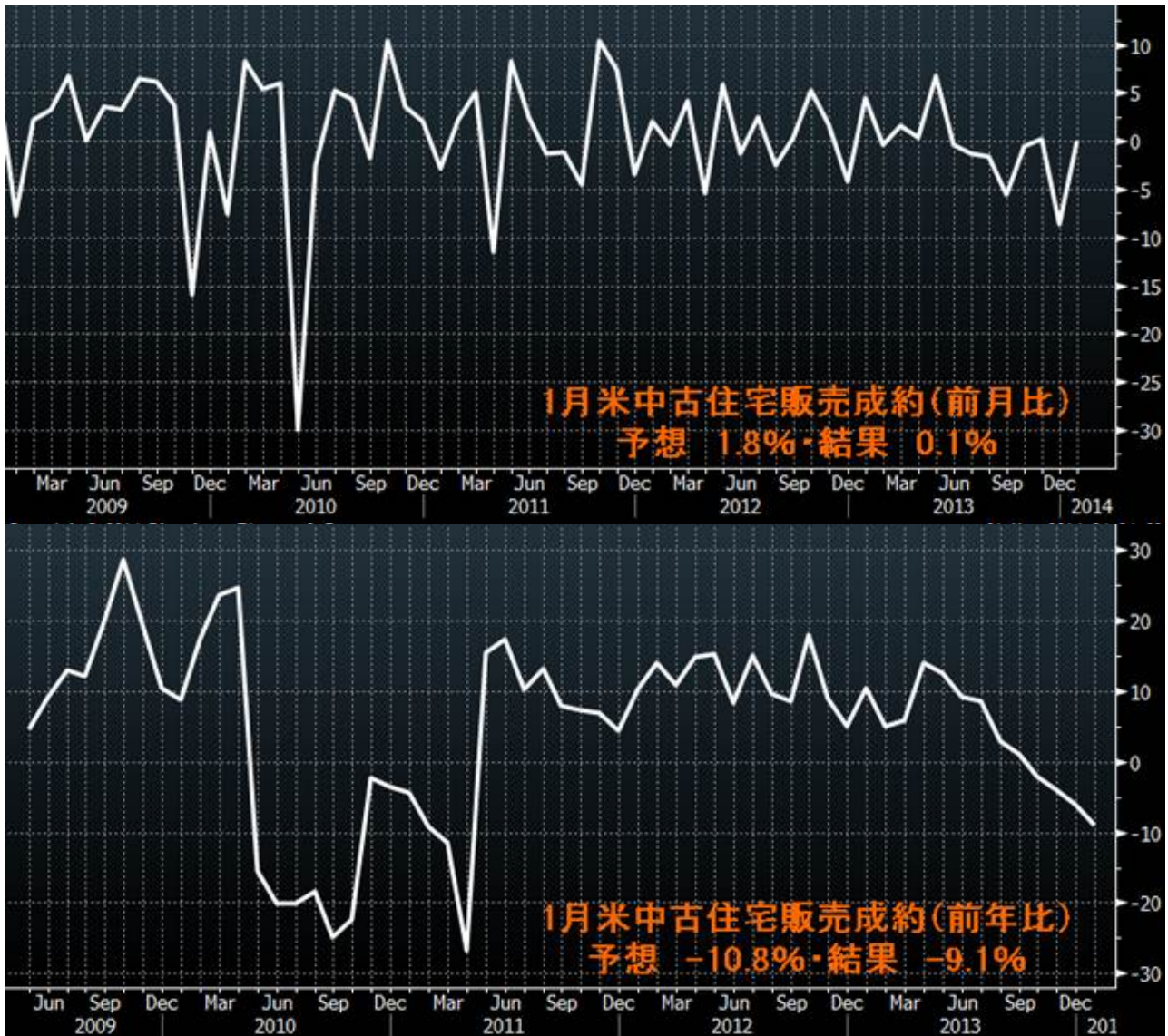
	2 月確報	2 月速報	1 月	12 月	11 月	10 月	9 月
消費者信頼感	81.6	81.2	81.2	82.5	75.1	73.2	77.5
景気現況指数	95.4	94.0	96.8	98.6	88.0	89.9	92.6
消費者期待指数	72.7	73.0	71.2	72.1	66.8	62.5	67.8
1 年インフレ	3.2	3.3	3.1	3.0	2.9	3.1	3.0
5 年インフレ	2.9	2.9	2.9	2.7	2.9	2.9	2.8

0 : 00

《 経済指標の結果 》

1 月米中古住宅販売成約（前月比） 0.1%（予想 1.8%・前回 -5.8%）前回発表の-8.7%から-5.8%に修正

1 月米中古住宅販売成約（前年比） -9.1%（予想 -10.8%・前回 -6.1%）



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

《中古住宅販売成約》

	1月	12月	11月	10月	9月	8月
全米	0.1	-5.8	-1.2	-2.0	-2.9	-1.0
北東部	2.3	-7.3	-2.0	0.0	-0.1	3.3
中西部	-2.5	-5.2	-3.1	-1.6	-4.9	-0.9
南部	3.5	-5.7	0.0	-2.2	-0.4	-2.7
西部	-4.8	-5.9	-0.3	-3.7	-6.7	-0.9
	(前月比%)					

	1月	12月	11月	10月	9月	8月
全米	-9.1	-6.1	-4.4	-2.7	2.0	2.8
北東部	-4.5	-1.4	0.7	4.8	5.6	1.8
中西部	-9.4	-2.3	-2.1	2.5	9.3	10.8
南部	-6.2	-5.3	-2.0	-2.1	2.1	5.5
西部	-16.1	-13.9	-11.3	-12.6	-5.2	-2.3
	(前年比%)					

0 : 20

《 要人発言 》

コチャラコタ・ミネアポリス地区連銀総裁

- ・「緩和的な金融政策は、金融安定にリスク及ぼす恐れ」
- ・「金融政策は、金融安定リスクへの考慮が必要」

0 : 35

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、2月の米消費者信頼感指数やシカゴ地区の製造業景況感が市場予想を上回ったことを好感し、主要株価は堅調な動きとなっている。

《 経済指標のポイント 》

(1) 米 10-12 月期の GDP 改定値は、年率換算で前期比+2.4%と速報値から 0.8 ポイントの下方修正となった。成長率は 4.1%だった 7-9 月期から縮んだ。個人消費や輸出の下方修正によって全体が押し下げられており、昨年末から米国を襲った寒波が影響した可能性がある。

①GDP の約 7 割を占める個人消費は+2.6%と速報値から 0.7 ポイントの下方修正。自動車や家具などの耐久財、非耐久財はいずれも下方修正され、サービスも下方修正された。

②設備投資は+7.3%と 3.5 ポイントの上方修正となった。情報処理設備や輸送機器などインフラ、機器に対する投資の伸び率が引き上げられた。

③住宅投資は-8.7%へ 1.1 ポイント上方修正され、マイナス幅がやや縮小した。

④輸出は+9.4%と伸び率が圧縮された一方で、輸入は+1.5%へと上方修正された。

⑤政府支出は連邦政府が 5 四半期連続のマイナスで、州・地方政府もマイナスに下方修正された。

⑥米FRBが物価安定の指標とする個人消費支出(PCE)物価指数は、前年同期比で+1.0%とインフレ目標の2%を下回った。変動の激しい食品とエネルギーを除いたコアPCE物価指数は+1.2%となった。

(2) 2月のミシガン大学消費者信頼感指数確報値は81.6で速報値から0.4ポイント上昇し、市場予想を上回る結果となった。また、前月比でも0.4ポイントの上昇となった。現状指数は95.4と、速報値に比べて1.4ポイント上昇したものの、前月比では1.4ポイント低下した。1年後のインフレ期待は3.2%で速報値から0.1ポイント低下し、前月からは0.1ポイント上昇した。

(3) NAR(全米不動産業者協会)が発表した1月の中古住宅販売成約(仮契約)は、前月比+0.1%の95.0(2001年=100)となった。また、前年同月比は-9.0%となった。

①在庫不足、信用基準厳格化、住宅価格の上昇に加え、悪天候が続いたことも悪化の一因となっていると指摘されている。

②地域別では、北東部が+2.3%、南部が+3.5%となったものの、中西部は-2.5%、西部は-4.8%となった。

③2014年の販売戸数は前年比-1.4%の501.8万件、2015年は+5.3%の528.3万件を見込んでいる。また、中古住宅の中間販売価格の見通しは、2014年が前年比+85.6%の20万8200ドル。2015年は+4.2%の21万7000ドルと予測した。

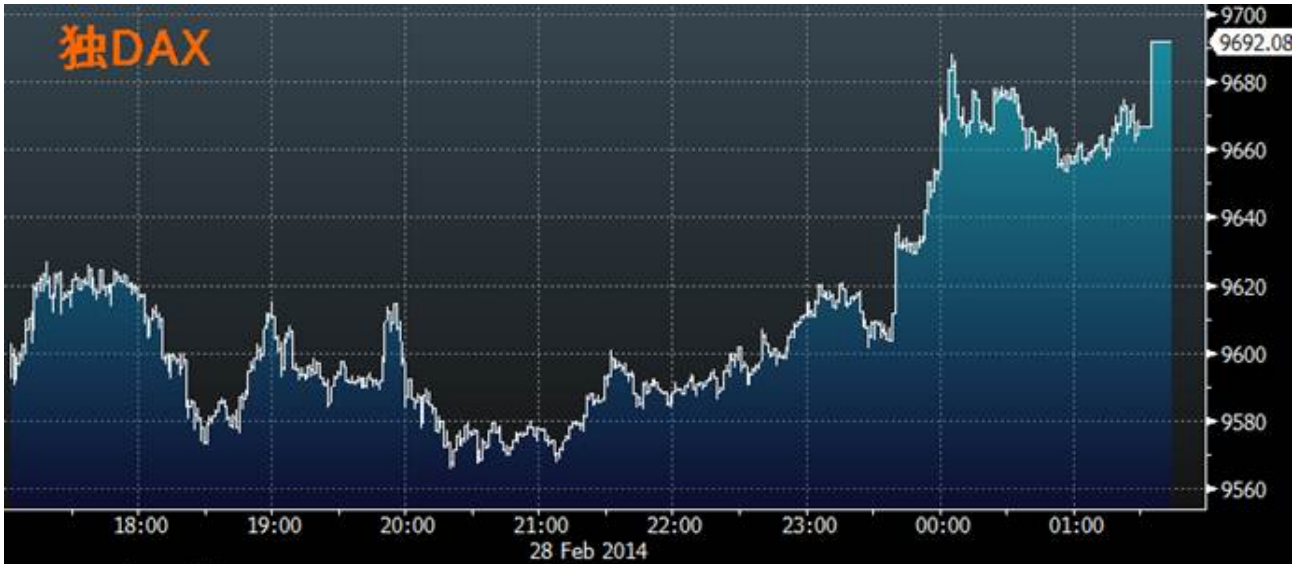
④仮契約は通常1-2ヵ月以内に本契約に移行するため、仮契約指数は中古住宅市場の先行指数とされる。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6809.70	-0.57
仏 CAC40	4408.08	+11.69
独 DAX	9692.08	+103.75
ストック欧州 600 指数	338.02	+0.81
ユーロファースト 300 指数	1348.39	+2.93
スペイン IBEX35 指数	10114.20	-49.90
イタリア FTSE MIB 指数	20442.41	+121.43
南ア アフリカ全株指数	47328.92	+279.13

(出所:SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。独 DAX は、米国の製造業景況指標が市場予想を上回ったことを材料に 1% 以上の上昇となった。一方、英 FT100 は売り買いが交錯し小幅反落となった。



(出所:ブルームバーグ)

2 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 16385.26 (+112.61)、S&P500 1865.51 (+11.22) ナスダック 4338.72 (+19.70)

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

午前の債券市場は、2 月の米シカゴ指数やミシガン大消費者信頼感指数がいずれも市場予想を上回ったことから安全資産とされる米国債の需要が弱まり、売りが先行した。ただ、米 GDP 改定値が速報値から下方修正となったことを手掛かりに買い戻しが入る場面もあった。

午前の利回りは、30 年債が 3.62% (前日 3.59%)、10 年債が 2.69% (2.64%)、7 年債が 2.17% (2.08%)、5 年債が 1.54% (1.48%)、3 年債が 0.70% (0.66%)、2 年債が 0.34% (0.32%)。

《欧州のポイント》

①EU 統計局が発表した 2 月のユーロ圏消費者物価指数は、前年同月比+0.8%となり、前 2 ヶ月の水準と並んだ。ECB は 2%弱の水準を目指している。2 月のエネルギー価格は -2.2%、アルコール飲料と食品、たばこは+1.5%、サービスの価格は+1.3%だった。変動の激しいエネルギーや食品を除いたコアインフレ率は 1.0%。

②EU 統計局発表したユーロ圏 18 カ国の 1 月の失業率は、前月と同じ 12.0%となり、昨年 10 月以来横ばいが続いている。欧州経済は債務危機による景気低迷から徐々に回復しつつあるが勢いが弱く、失業率は高止まりが見込まれている。EU28 カ国の失業率は 10.8%で、前月の改定値と同水準。ユーロ圏の若年層 (15 歳以上 25 歳未満) の失業率は 24.0%で、前月の改定値と同じだった。債務危機で EU などから受けた金融支援を

終えたスペインは 25.8% (前月 25.9%)、アイルランドは 11.9% (12.0%) となった。また、イタリアは 12.9% (12.7%) となり、統計開始以来の最悪を更新した。ドイツは 5.0% (5.1%)、フランス 10.9% (10.8%)、オーストリアで 4.9% (5.0%) だった。

③スウェーデン統計局が発表した 2013 年第 4・四半期の GDP は、前期比+1.7%と、予想を大きく上回り、3 年ぶりの高い伸びとなった。前年比は+3.1%で予想の+1.1%を上回った。第 4・四半期の項目別では、家計の消費と政府の支出がともに増加し、在庫の変動が GDP を 1.5%ポイント押し上げた。スウェーデン政府は今年の成長率を 2.5%、2015 年を 3.5%と予想している。2013 年は 1.5%のプラス成長だった。

4 : 30

NY 金は、中心限月が前日比 10.20 ドル安の 1 オンス=1321.60 ドルで取引を終了した。

5 : 30

NY 原油は、中心限月が前日比 0.19 ドル高の 1 バレル=102.59 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1321.60	-10.20
NY 原油	102.59	+0.19

(出所:SBILM)

《 NY 金市場 》

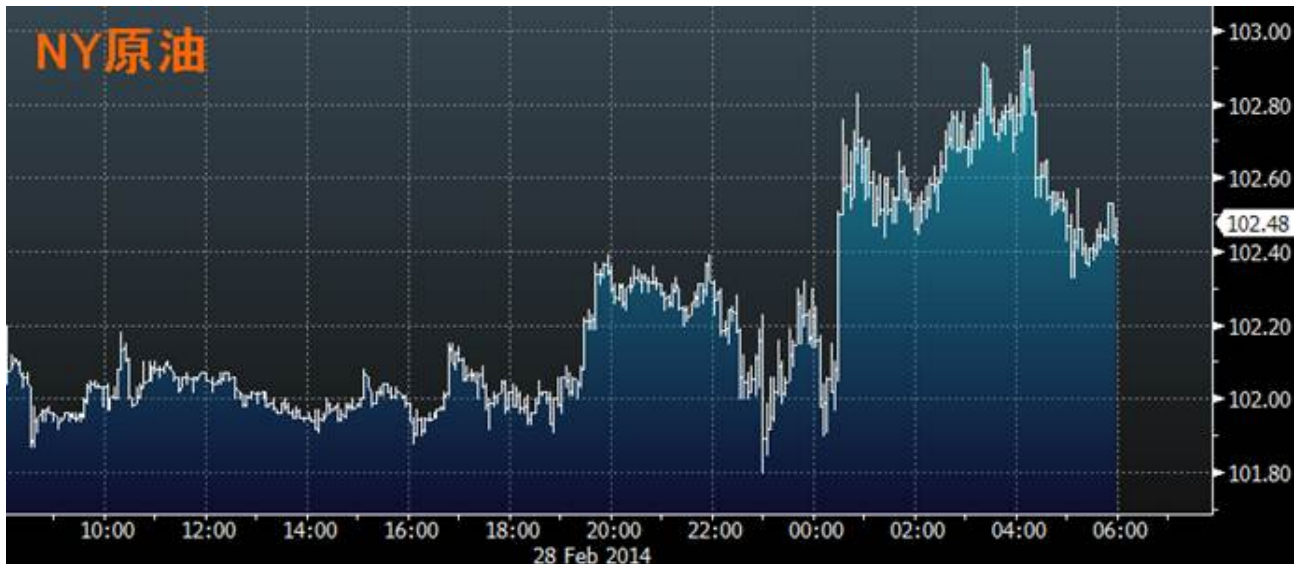
NY 金は、米国株の上昇で投資家のリスク志向が強まり、比較的安全な資産とされる金の需要が弱まった。また、最近の値上がりを受けて利益確定売りが出たことも相場を圧迫した。



(出所:ブルームバーグ)

<< NY 原油市場 >>

NY原油は、ドルが主要通貨に対して下落したため、ドル建ての原油先物に割安感から買い先行した。しかし、米 GDP が予想を下回ったことや、ウクライナ情勢の先行き不透明感が相場を圧迫し、上げ幅は限定的となった。



主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16321.71	+49.06	16398.95	16226.09
S&P500 種	1859.45	+5.16	1867.92	1847.67
ナスダック	4308.12	-10.82	4342.59	4318.93

(出所: SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、2月の米消費者信頼感指数やシカゴ地区の製造業景況感が市場予想を上回ったことを好感し、主要株価は序盤から堅調な動きとなった。ダウ平均株価は、一時前日比で126ドル高まで上昇したものの、ウクライナ情勢に対する懸念が高まったことを背景に、マイナス圏まで下げる場面もあった。ただ、終盤にはプラス圏まで戻して引けた。一方、ナスダックはマイナス圏で引けた。



(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	101.85	102.30	101.67
EUR/JPY	140.60	141.12	140.44
GBP/JPY	170.52	171.21	170.13
AUD/JPY	90.88	91.37	90.69
NZD/JPY	85.40	85.91	85.25
EUR/USD	1.3807	1.3825	1.3792
AUD/USD	0.8923	0.8964	0.8915

(出所:SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、米経済指標が予想を上回る結果となったことや、堅調な株価動向を背景に、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。その後小動きの展開が続いたものの、終盤にはウクライナ情勢に対する懸念からリスク回避の動きが強まり、ドル円・クロス円は一段の下げとなる場面もあった。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。